



ほ な み

穂 竝

第 10 号

令和 3 年 11 月 15 日発行

<http://toyoura.shibata.ed.jp>

「いじめをしない、見逃さない、命を大切にする」学校にしよう

校長 伊藤 真哉

県内の中学生が校舎から転落をして亡くなってしまったというとても悲しく、いたましいできごとがありました。その生徒は、いじめ被害を遺書につづっていたと報道されています。

この悲しいできごとに接して、皆さんは、悲しい気持ち、不安な気持ちで一杯だと思います。

命はかけがえのないもの、一つしかないものです。その尊い命が突然失われてしまったらどうなるのか。昨日まで、一緒に話をしたり、笑ったり、遊んだりしていた仲間が突然いなくなる。そのときの周りの人の思い、残されたご家族のお気持ちを想像すると、いたたまれなく、やりきれない気持ちでいっぱいになります。

今日は、皆さんに、あらためて、豊浦中学校を「いじめをしない、見逃さない、命を大切にする学校にしよう」という話をします。

みなさんは、今、学校生活の中で、いじめを受けていやな思いや悲しい思いをしていませんか。みなさんの周りに、いやな思いやつらい思いを抱えている人はいませんか。あなたは、「ちょっとふざけているだけ」と思って、仲間のものを勝手にさわったり、あだなを言ったり、からかったり、言葉でいじったり、SNSに悪口を書き込んだりして仲間がいやな思いや悲しい思いをさせていませんか。

いじめは、いじめた人にその意識がなくても、相手が「いやだ」「やめてほしい」と苦しい気持ちを感じていたら、それは「いじめ」です。

もし、この中にいじめを受けて、つらい思いをしている人、家族に心配をかけたくないがまんしている人がいたとしたら、決してあなたが悪いわけでも、弱いわけでも、恥ずかしいわけでもありません。いじめは、いじめ防止対策推進法という法律で、「児童・生徒はいじめをしてはいけない」と定められている法に触れる行為です。

勇気をもって、誰かに相談してください。友達、身近な大人、学校以外にもたくさんの相談窓口があります。人はだれでも、悩みや不安は必ずあります。悲しいこともあります。自分でなんとかできないこともあります。相談することは決して恥ずかしいことではありません。相談をすれば、必ず気持ちが軽くなり、つらい状況はかわります。

あなたの周りで、いじめを受けて、悲しい思いやつらい思いをしている仲間がいることに気づいた人は、見て見ぬふりをせず、信頼できる大人に相談してください。相談を受けた大人は、学校・家庭・関係機関と連携して、必ず皆さんを守ります。

豊中の合言葉「あじさい」の「い」＝「いじめをしない、見逃さない」です。私たちみんなの手で、人を傷つけたり自分を傷つけたりする仲間がなくなり、誰もが安心できる学校にしていきたいと思います。

(11月11日の臨時全校集会講話より)

合唱コンクール(10月30日土曜日)

合唱コンクールを10月30日(土)に行いました。生徒のがんばりで、今年の合唱コンクールも大成功でした。どの学年・学級も聴く人に感動を与える素晴らしい合唱を披露してくれました。審査をしていただいた講師の先生からも「最初の1年生の学年合唱から涙が出た」「2・3年生は昨年からの成長が感じられる」「どの演奏からも歌詞を丁寧に伝えようという意図がよく伝わってきた」等、おほめの言葉をたくさんいただきました。行事を通して育んだ各クラスの絆や学年の団結力を、ぜひこれからの学校生活にも生かしてほしいと思います。

最優秀賞	3年1組	指揮者賞	秋堂吏都さん(3年1組)
優秀賞	1年1組 2年1組 3年2組	伴奏者賞	中村杏奈さん(3年2組)
優良賞	1年2組 2年2組		

☆実行委員と各受賞者に感想を聞きました☆

1年1組



1年2組



私は、初めて合唱コンクールの実行委員をやりました。みんなに上手く指示が出せず実行委員の大変さに気付きました。しかし、実行委員を通してみんなをまとめることや責任のある仕事を最後までやり通すことの大切さを学ぶことができました。本番では学年・学級のみならず自信をもって合唱しより絆を深めることができよかったです。

(1年1組 榎本心煌)

私は、合唱コンクールを終えて仲間との絆が深まったような気がします。歌を通し、どのようにしたら成功できるかなどたくさん考えました。仲間だけではなく、先生からもアドバイスをもらいました。学級合唱は、最初に最後のこのメンバーでの合唱でしたが、協力して成功させることができよかったです。

(1年1組 田中 陸)

私の合唱コンクールを終えての感想は、1年2組の主に男子が練習中にふざけているのを注意することに初めは苦労しました。また、他のメンバーに流されてきれいにハモらなかつたりしました。でも、練習を重ねるうちにだんだんと各パートの声が出せるようになっていき嬉しかったです。結果は優良賞でした。来年は、もっとよい合唱になるように今年の経験を生かして頑張りたいです。

(1年2組 赤澤健翔)

私は、実行委員を通して、指示を出すことの難しさを感じました。どこを直せばもっと良くなるかを考えてみんなに伝えるのはすごく難しかったです。また、仲間と協力し合うことの大切さを学びました。最初は、なかなか息が合わないこともありましたが、でも、合唱練習を通して、みんなで心をつなげて歌おうという気持ちが強くなっていきました。本番は心をつなげて歌えてよかったです。

(1年2組 神田美結)

2年1組



私は合唱コンクールで改めて仲間の大切さを学びました。分かりづらい指示を出してしまった時には、一人一人が考えて正しい行動をとってくれました。おかげで練習では、パートリーダーを中心にスムーズに薦めることができました。私は、賞の結果も嬉しかったのですが、それ以上に合唱を通して仲間との絆がより深まったことが嬉しかったです。来年は最上級生らしい合唱を目指します。(2年1組 猪股優衣)

合唱コンクール実行委員は、本番の一ヶ月ほど前から活動していました。いろいろな仕事があり不安なことも多い期間でしたが、仕事の中でやりがいを見つけて取り組みました。合唱コンクールが終わった時には体の力がスーッと抜けるような充実感がありました。私は実行委員をして多くのことを学びました。この経験を生かしていきたいです。(2年1組 磯邊風雅)

2年2組



最初はうまく指示が出せず苦労しました。準備が遅かったり、声が出ていなかったり、声の強弱がつかなくなったりしました。そこで、パートリーダーや指揮者と相談し、毎日一つ一つ目標を立て、取り組むことにしました。本番は、練習でできたことを発表できてよかったです。(2年2組 肥田野偉大)

私は2回目の実行委員を務めました。クラス替えをして、昨年とは違うメンバーで臨んだ合唱コンクール。初めはクラスが一つにまとまらず、不安でした。しかし、パートリーダーと協力して、皆の心がひとつになるよう、がんばってきました。本番では、とてもよい合唱をすることができました。来年も協力して、よい合唱にしたいです。(2年2組 本間雛希)

3年1組



私は、今回の合唱コンクールでとても緊張していました。そのため、学年合唱ではたくさんミスをしてしまいました。ですが、学年合唱が終わり横にはけた時に、近くの友達に「ごめん間違えた。」と言うと、友達は「大丈夫。次頑張ろう。」と励ましてくれたのです。そのおかげで学級合唱は緊張せず堂々と歌えました。スローガンのように仲間との絆が力になること感じ、感動しました。(3年1組 榎本龍彦)

私は、今年の合唱コンクールが一番大変で思い出に残りました。理由は、クラスの雰囲気が悪くなることを初めて経験したからです。練習を重ねるごとに、意見が対立しました。実行委員と指揮者で、みんなを励まし楽しく本番を迎えられるように頑張りました。その思いが届き、本番では各パートでバランスを合わせ、最優秀賞を取ることができました。これからもクラスで力を合わせて様々なことに挑戦していきたいです。(3年1組 鎌田菜奈)

3年2組



実行委員になった時は、不安な気持ちでした。もちろん、初めは失敗ばかりで、何もうまくいきませんでした。そんな中、合唱リーダー全員で、その日の練習の反省をするようになり、練習内容や指示をはっきりと伝えることでうまくいくようになりました。一人では、何もできなかった自分を、支えてくれた仲間感謝の気持ちでいっぱいです。(3年2組 齋藤柗)

私は、実行委員をするのは2回目で、中学校生活最後のコンクールということもあって今まで以上に練習を頑張ってきました。合唱強調週間では、長時間パートリーダーとどうやればうまくいくか話し合ったり、実行委員の仕事があつたりして、やる事が多くありました。それでも、投げ出さずにやりきりました。本番では、緊張しつつも、いい合唱ができたことは、いい思い出です。(3年2組 長谷川実春)

指揮者賞

(3年1組 秋堂吏都)

昨年、今年と3年1組の指揮をしていて、昨年より
すごくよくなって、練習毎にどんどん技術が上がり、
指揮をするのがすごく楽しかったです。きっと、私が
ただ指揮を振っているだけでは賞はとれませんでした。
皆の合唱がどんどん良くなっていったのが、賞を
とることができた理由だと思います。3年1組の皆に
はとても感謝しています。ありがとう。

伴奏者賞

(3年2組 中村杏奈)

今年のクラス合唱は、歌も伴奏もとても難易度が
高く完成させるのに時間がかかりました。時間がか
かった分、とても完成度が高く仕上がり、四部合唱を
歌いきることができました。伴奏は、シャープが5つ
付いていたり、リズム感が難しかったりしてとても苦
労しましたが、本番は歌に合わせていねいに弾く
ことができました。伴奏者賞を2年連続でとることが
できて本当に嬉しかったです。

各種大会、コンクールの成果を紹介します

○ソフトテニス新発田支部1年生大会

中学男子第2位 徳永玲海・古川想也 組
中学女子第1位 金田遥心・円山結衣 組
2位 赤澤榛菜・高橋悠 組



○全日本少年春季野球大会下越地区予選会

準優勝 豊浦中学校

○新潟県中学校ソフトテニス1・2年生大会(新潟下越ブロック)

女子 第2位 猪股優衣・臼井乃愛 組

○下越地区中学校新人陸上大会

男子2年1500m 6位 渡邊朝日



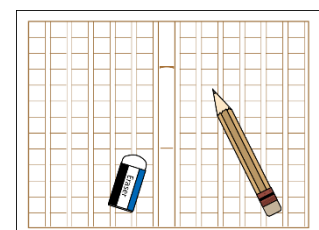
○新発田市民総合ソフトテニスボール大会

男子ソフトテニス 第1位 大滝悠斗・徳永莉斗 組
第2位 佐藤空穂・田中悠斗 組
第3位 長谷川諒人・円山陽貴 組



○新発田健康づくり「絵と標語」

優秀賞 「運動習慣部門」 片山歩美
佳作 「運動習慣部門」 湯浅空人
佳作 「健康部門」 鎌田梨瑚
佳作 「健康部門」 齋藤美智子
佳作 「食生活部門」 山岸朝柊
佳作 「食生活部門」 渡邊航



○新発田市中学校読書感想文コンクール 奨励賞 赤塚秀馬

